

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第8回 ワークショップ

授業を通してソルフェージュを考える

模擬授業を通してソルフェージュを考える「ワークショップ」も、お陰様で8回目を迎えることとなりました。

今回は、相愛大学音楽学部の赤石敏夫先生をお招きして、本協議会の鈴木しのぶ理事と共にソルフェージュ教育の可能性と問題点を皆様と共に考えていきたいと思っております。それぞれ作曲とピアノ出身のお二人ですが、指導者が持つべき「引き出し」の多様性と、「音階」そのものの考察、という興味深い展開が期待されます。より多くの皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

日本ソルフェージュ研究協議会会長 渡辺 健二

日時：2019年 **9月1日** (日) 14:00~(13:30 開場)
会場：桐朋学園大学 仙川キャンパス 333 室



赤石 敏夫 Toshio AKAISHI

国立音楽大学音楽学部作曲学科卒業。現在、相愛大学音楽学部教授。ソルフェージュ、和声学、作・編曲法などを担当。所属団体：日本現代音楽協会、日本作曲家協議会（理事）、全日本ピアノ指導者協会、日本電子キーボード音楽学会、日本ソルフェージュ研究協議会各会員。著書：「ソルフェージュ入門」（KMP刊）、「独習聴音問題集（上・下CD-R付）」、「視唱ステップアップ（共著）」（全音楽譜出版社刊）他。

◆ソルフェージュ教育の様々なアプローチ

聴音、視唱を中心とした訓練をルーティンとして毎回の授業やレッスンで実施することは大切なことです。また、海外の教材やソルフェージュ教育にヒントを得て指導法を考えることも大切です。いずれにせよ、生徒・学生に最も効果的な方法を選んで実践できるよう、指導者は多くの引き出しを持っていないと行けません。本日は長年のソルフェージュ指導の経験から学んだ様々なアプローチの例をお見せします。これからの指導の参考になれば幸いです。



鈴木 しのぶ Shinobu SUZUKI

桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。ニューイングランド音楽院修士課程およびディプロマ課程ピアノ専攻修了。東京藝術大学大学院音楽研究科音楽学ソルフェージュ専攻修了。共著『ソルフェージュ教育ライブラリー 展開ソルフェージュ』『ソルフェージュ教育ライブラリー 発展ソルフェージュ』など。現在、桐朋女子高等学校音楽科教諭、桐朋学園大学音楽学部講師、洗足学園音楽大学講師。日本フォーレ協会会員、日本ソルフェージュ研究協議会理事。

◆音階をデザインする

3:2の音程比を持つ純正の完全5度を音程の基準尺度として音律を規定し、各音階音を構成するピュタゴラス音律。模擬授業では、この手法を使って音程比を計算します。ヨーロッパの人々が音高組織をどのようにデザインしてきたのかを数字を使って視覚化することで、普段は楽譜に書かれた音符によって認識している音高や音階を、別の側面から考察します。使い慣れた「ドレミ…」について、新たな気づきを得るきっかけになればと思います。

▶入場料無料

（正会員以外の方は以下の経費負担をお願い致します。）

一般 3,000 円、学生 1,000 円、賛助会員 1,500 円

▶問い合わせ先：

日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567（留守番電話）

E-mail : ni-sol-ken@island.dti.ne.jp

http://www.ni-sol-ken.com/index.html

Homepage



facebook



桐朋学園大学 仙川キャンパス



京王線「仙川」駅より徒歩5分です